

The Japan Interior
Designers Association
Monthly Report
No.225
Jul, Aug, Sep, 2004

JID news

JID月報：通巻225号
平成16年7月、8月、9月号
(4・5・6月を含む)
発行日：平成16年9月30日

発行：(社)日本インテリアデザイナー協会
〒163-1008 東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー8F
電話 03-5322-6560 FAX 03-5322-6559
発行人：川上玲子

社団法人日本インテリアデザイナー協会

目次

巻頭：理事長・副理事長挨拶



川上玲子 理事長

平成16年度 第1回正・副理事長会議……………	3
平成16年度 第2回理事会 議事録……………	3
平成16～17年度事業推進案について……………	6
委員会報告(選考委員会)……………	8
// (交流委員会)(情報委員会)……………	9
支部活動報告(関東事業支部)……………	10
// (中部事業支部)(関西事業支部)……………	11
// (九州事業支部)……………	13

事務局からのお知らせ……………	14
新会員紹介……………	15

理事長挨拶

国際的視野からのスタート 川上 玲子 理事長

今、日本の市場は国際的観点からの物作りが盛んに言われ始めています。

ここ数年、企業の国際見本市参加も目立ち、世界に向けたデザイン開発の必要性が問われる時代になっています。そのためには差別化された日本独自のデザインと技術を生かすこと、その手段として企業とデザイナーのコラボレーションが大事な要素になっていくでしょう。

創立以来半世紀近くになろうとしている私達JIDにとっても新しい視点に立ち、一人一人の力を共有して世界に目を向けた活動をして行く時ではないでしょうか。

世界の中でも優れた感性を持つ日本人、そして一部分だけを捉えてみると目覚ましいデザイン発展国のように思える日本で真の意味でデザイナーが活躍出来る良い環境とは言い難い気がいたします。

将来の希望に満ちた若者達は自分達の力で海外展に出展し、受け入れてくれる企業を模索し、日の目を見たデザインが日本に輸入され始めている現状からも分かるように、世界はグローバルに動き始めているのです。

長い歴史を持つJIDの組織の一員だからこそ出来るアイデアを出し合い、みんなの力を結集することによって独りではなし得ないような活動も一団となって対社会に示すことで国内だけに留まらず世界に向けた組織として活躍の場が発展して行くよう願っています。

副理事長挨拶

新生JIDと新事業推進に向けて 小宮 容一 副理事長・事業推進担当

平成16・17年度の理事に選出いただいた事を、まずお礼申し上げます。これまでに、泉修二理事長、木村戦太郎理事長の折にも理事を勤めさせていただきました。いずれも改革的理事会でありました。

泉理事長時代は、バブル崩壊の後の会員激減の中、財政改革を断行し、事務局人事を刷新しました。

木村理事長時代は、本部組織の改革を決断、理事数の削減と組織の統合を行いました。これを受けた今期の理事会は14名から11名となり、関西選出は3名から2名に減りました。一層責任の重いものになったと認識しています。その上の副理事長の席は名誉であり、重責でもあります。力の限り責務を果たしたいと考えます。

1月の理事予定者会議において、川上玲子氏が、全員

一致で理事長に選出されました。これまでの改革の流れの中、新生JIDを目指す理事会の意志と言えます。更に委員会を、選考、総務、交流、情報の4委員会に集約し、『事業推進担当』と『4事業支部担当』の2担当を新設しました。この2担当は、互いにリンクして、本部、支部の在り方、本部事業、支部事業の在り方について、新しい考え方、構造、運営を作ろうとするものです。

『事業推進担当』に私、安藤清氏、丸谷芳正氏が当たることになりました。重責です。早い時期から、メールでの意見交換、理事会、理事長会議の後、7月24日担当3人が名古屋で、第1回事業推進担当会議を開催しました。

- ①基本に本部事業のスリム化と効率性、効果性があり、
- ②そこから本部事業と支部事業との住み分け、
- ③会員中心の事業展開、
- ④支部事業の全国展開、
- ⑤賛助会員との事業展開など、

具体的な事業推進が議論されました。別段の記事で丸谷氏の提案がありますので、ご一読下さい。まだ、緒についたばかりです、本年中には、骨子をまとめると共に、部分的に、試験的に新しい構造での事業作成と実施も必要かと考えています。

会員各位のお知恵を拝借の場面も、事業実施段階でご協力を必要とする場面もでてきます。

その折には、ご支援よろしく願いいたします。

新理事からのメッセージ

今の還暦70歳! 理事就任に対し 安藤 清 中部担当理事

今年3月末、40年の竹中インテリアを卒業でき、いま少し社会とかかわりたく、理事をお受けしました。この世界、改装はかならずあり、リタイア後の今もオーナーとかかわり、仕事のできることに感謝いたします。

お客様の5感を知りつくし、完成時の喜びの共有は何年たっても変わらない至福のときです。長年のいねわり会員、バブル期に乗じインテリアの創生期の先達のご努力をいいことに、自分の仕事のみの30年、申し訳なく思いあらためて諸先輩の方々に感謝いたします。

'95IFIの交流委員長を仰せつかり眠からうろこでした、参加すればするほど情報、人様とのかかわりができ仕事の幅にふくらみを感じた10年でした。資格団体とことなり実に他分野の皆様の活躍を知るにつけお客様へのご提案に多く盛りこめました。

日本も建築の成熟期を迎え古い建物をいつくしみ、インテリアはゆうまでもなく外観にまで自己主張、またトレンドのインテリアにオブラート皮膜したガラス建築、本当のイン

テリアの時代の到来だ。

これからのJIDの行く先はまさに正念場である。

やはり成果作品での勝負、メディアも多くのインテリア番組、本もインテリア頁などを組み、日常に入り込んできている。

'89年名古屋ヒルトンで初めてインテリア契約を結び外人デザイナーと協同を経験し多く学んだ。それ以降名だたる日本のホテルインテリアの大半が外人デザイナーの出馬(日本の技術力でカバー)で今しばらく繰り返す。しかしその洗礼を受けた後の日本人の独自性は商業施設のデザインなどの例をみれば明解で今ではトップクラスである。

皆様はそろそろ各地域、類似性のインテリアにへきへきされていませんか? あのマニュアル尽くしのヒルトンのノウハウのなかでさえデザインに関してはその国の地域文化をデザインに取り入れること、とのみ記されています。幸いにも現代の若い方がたに日本の文化を現代に解釈したインテリアシーンを創出されていることはこれからが楽しみです。

猿真似でなくわが国の生活文化を真摯に解釈し、それを現代の感性でよみがえらせたインテリアシーンならば必ず世界に発信できる。

すばらしい感性をもつ我々日本の若い方々を育てる使命を今の会員が一人一人持たれるゆとりの心があれば若い会員も入会されます。

我々各地の会員が、若いアクトの会友と各地域のJIDパートナーズの方々と共に各地域の文化を共有しあい、地域に密着した活動になれば各地域の独自性のデザイン文化が生まれると確信する。

中部は特に物作りの地域、数年前から“ものづくり探索”をつづけ漆、他のコラボレーションの実績も生まれ来春には“名古屋扇子”を各自デザインして現代空間の中での扇子のあるアートシーン 仮称「センスのあるインテリア展」の企画あり、各支部のご参加をお願いします。

このように地域に密着し町の方々にも理解される企画を今後も行いインテリア職能をアピールすることを推し進めたい。さらに、学会、コーディネイター協会、プランナー協会、当協会が合同でセミナー、勉強会、合同展示会、他など各行政サイドの垣根を超えておこなえれば、より合理化され力強くアピールできると確信する。パートナーズ、アクトの会の方々もよりメリットを得ていただけると思い近いうちにこの地方からでも立ち上げたい。

正・副理事長会議

平成16年度 第1回正・副理事長会議

日時：平成16年6月19日(土) 12:00～15:00

場所：ホテルフロラシオン青山

出席：理事長 川上玲子

副理事長 小宮容一、阪井良種

事務局 峰尾武

■議題

[1] 本部情報委員会予算詳細について

委員会より予算詳細について提出あり、但し現時点では明細に不明点があり今後新旧委員長引継ぎにて詳細を詰めることとする。

[2] 事業推進担当(小宮、安藤、丸谷)

担当理事間にてメールによる予備調整を行い、第1回事業推進担当会議にて事業推進案を更に詰める。
7月24日名古屋にて開催予定。

[3] 全般について

1. 基本に戻って展覧会等社会的にアピールするものを計画。
 2. 会員だから出来るコラボレーション等を考慮。
 3. 若い人の海外出展等積極的なチャンスをあたえるような企画。
 4. 協会活動の参加者固定化をなくし参加しやすいものを計画。
 5. ワーク集等出版については次の仕掛けをつくる。
 6. 受託事業を考える、本部が窓口となり地場産業等との事業他、プロデューサー料を徴収し会員に参加させる。
 7. 会員の増強については賛助会員を増やし、入会后パートナーズとの連携を考える。
 8. 関西事業支部では新製品説明会を行っている。
 9. ユースの名称の統一について今後調整。
- 以上のような事柄について討議今後の運営に繋げる。

[4] 財務運営状況(5月末確定、6月予測)

現在会費入金状況については順調に推移、6月中旬以降に各事業支部に今年度事業補助費を支給予定。

[5] 後援・協賛名義承認の件(4件)

- 「2004東京国際家具見本市」(IFFT2004)
平成16年11月24日(水)～27日(土) 東京ビッグサイト
主催：社団法人国際家具産業振興会 後援・継続
- 札幌スタイル・デザインコンペティション
平成16年7月12日(月)～平成16年12月中旬頃
主催：札幌市経済局産業企画課 後援・新

●国際陶磁器フェスティバル'05

2005年7月1日(金)～8月31日(水)

セラミックパークMINO

主催：国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

(岐阜県他)

協賛・継続

●INTERIOR PRO EX CO21(IPEC21)・2004

2004年10月13日(水)～15日(金) 東京ビッグサイト

主催：JIPA日本インテリアプランナー協会協議会

特別協賛・継続

[6] 会員入退会に関して

●正会員 入会(1件)

辻野由美(中部) 推薦人：出水裕子、安藤清

●賛助会員 入会(1件)

日本フィスバ株式会社

紹介者：安竹麻智、菅野民子、安田恵

●名誉会員 承認(1件)

田中聰行(関東) 会員番号0142

以上について正・副理事長が承認。

理事長 川上玲子 副理事長 小宮容一、阪井良種

理事会

平成16年度 第2回理事会 議事録

日時：平成16年9月11日(土) 13:30～17:50

場所：社団法人日本インテリアデザイナー協会

OZONE会議室

東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー8F

出席：理事長 川上玲子

副理事長 小宮容一、阪井良種

理事 秋山修治、吉良ヒロノブ、坂本和正

清家淳一、丸谷芳正、山永耕平

委任出席 安藤清、岩倉榮利

監事 川上信二、(欠席)中川千年

事務局 峰尾武

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

[2] 平成16年度収支状況報告(7月末)

[3] その他

財務運営資金繰り

次回 第3回理事会予定

平成17年1月21日(金) 13:30～17:30

ニューイヤーズパーティ 同上 18:30～20:30

II 議題

第1号議案 事業支部規定他改訂について

第2号議案 後援・協賛名義及び賞状交付承認の件

第3号議案 会員入退会承認の件

第4号議案 議事録署名人選任の件

峰尾事務局長より「理事総数11名中本人出席9名委任出席2名で本理事会は成立した」旨報告、川上理事長が議長となり議事に入った。

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆ 関東事業支部 (阪井)

1. 6月19日第1回関東事業支部全体会議実施、6月30日第2回全体会議を実施。

NEXT JIDをテーマに組織改革の意見交換を行った。

多くの意見を基に改革コアメンバーが10数回に渡り討議し、2年任期の委員と異なる、プロジェクト毎のプロジェクトメンバー制度の導入と組織の構築を図った。

支部組織を、総務・組織、事業、交流、情報、研究の5委員会とし、又プロジェクトメンバーバンクを創設。

なお役員人事で副支部長に山本英嗣、酒井正人、を決定。

2. IPEC21・2004にJIDブース出展、バルーンオフィスに会員ワーク集作品を投射の予定。

◆ 中部事業支部

(安藤理事委任出席のため事務局長説明)

6月12日JIDA36回通常総会懇親会理事長代理安藤理事出席。6月19日～20日中部事業支部総会in福井(終了後福井新会員歓迎会兼懇親会)。7月26日7月度役員連絡会を実施(明治村CD完成報告、新事業名古屋扇子、HP更新他)。その他今後の予定報告。

◆ 関西事業支部 (清家)

● 総務部会：6月5日(土)支部総会及び「うるわし」アンケート結果報告、記念セミナー開催。6月21日(月)第2回運営部会開催。8月24日(火)第3回運営部会、正副理事長会議報告、部会活動報告、USD-O報告。

● 組織部会：6月5日(土)組織、地域、交流G総会交流会開催。6月16日(水)第3回新商品説明会の詳細企画立案。7月20日(火)事業・賛助会・協賛企業G「新商品説明会の事前説明」7社参加。8月18～22日賛助会・協賛企業「中国広州家具見本市視察ツアー開催」小宮、清家、高瀬会員及び大和金属専務応地氏(協賛企業)参加。

● 情報部会：6月28日(月)「ECHO誌」「JID News」合併検討会の結果一旦白紙、次回運営部会で報告、承認を得る。又「JID News」のあり様・存在価値の検討を理事会に進言。(出席者、清家、小宮、佐々木、

八十、疋田、高瀬、安藤、山本、事務局 高尾) 7月22日(木)「ECHO誌」担当G 25号編集会議開催。

● 研究発表部会：7月15日(木)7月17日(土)展覧会G「日本の空間デザイン2004」参加会議開催、支部会員作品及び学生賞作品展示の了解を得る。

7月30日(金)8月26日(木)研究担当G「教育マニュアル」出版最終チェック及び実験的試みとして「段ボールでマイチェアを作ろう」を実施。

● ACT-kansai：5月22日(土)総会開催。

USD-O(大阪デザイン機構)ホームページ立ち上げ(山崎会員)JIDにリンク。

◆ 九州事業支部 (山永)

6月11日(金)支部総会実施。(福岡市天神 幸ビル8F会議室)15年度報告、決算及び16年度計画、予算承認、又新役員及び新入会員紹介。

6月11日(金)第1回例会及び「インテリアデザインセミナー in FUKUOKA」―成功のデザインとは・駆りたてるものは何か!を実施。

7月24日(土)第2回役員会、(日田市)

1. 今期事業について

2. これからの例会開催について

9月九州新幹線で鹿児島、11月福岡デザインリーグ及びダイアモンドシティ見学、1月熊本又は山口を予定。

7月24日(土)～25日(日)第2回例会を日田市にて開催、サッポロビール新九州工場、渡辺石彫工房等見学。

3. TRYの会及びホームページ等について検討。

その他、(財)大川総合インテリア産業振興センター主催の「第19回全国高等学校インテリアデザイン展」にJID山永理事、飯田支部長が協会役員として審査に参加、尚、JIDは理事長賞を出している。

◆ 総務委員会 (秋山)

1. Jプロジェクトの遂行、16年度計画概要策定及びプロジェクトの目的確認。又タイムスケジュール調整。

2. 委員会活性化のための担当制導入。

3. 報酬、業務についての調査続行。

4. 福利厚生関係のインフォメーションと契約更新。

5. 著作権・工業所有権などに関し、日本デザイン団体協議会デザイン保護研究会より文化庁への「著作権法改正要望」提出について意見を入れる(デザイン保護担当)

6. JID会員証(展示用)希望者への有料配布に伴う対応。

◆ 交流委員会 (坂本)

1. IPEC21に関して

6月28日JIPAT帛屋氏、中川会長、IPEC運営事務局の岡氏より「IPEC21 2004」への参加およびセミナー企画の要請を受ける。(JID川上、小野、峰尾)

7月12日川上理事長オフィスにて、関東事業支部佐藤支部長を交え、川上理事長、坂本理事、長岡氏が

上記案件について合同会議を行う。

7月15日坂本理事が、内田繁氏にセミナー講師を依頼、受諾される。

8月3日本部事務局にて、川上理事長、阪井副理事長、峰尾事務局長が今回のIPEC21への参加要請を最終的に受諾を決定。

8月23日関東事業支部佐藤支部長をIPEC21事務局に紹介。

9月6日第1回交流委員会を銀座にて開催。

(出席 坂本、小野、川上理事長)

2. 交流委員決定 藤原啓克、酒井正人、森美香子。

3. APSDAに関して

今年度は香港で開催となっているが、現在開催に関し正式なインフォメーションがなく、不確定要素が多いため今後主催者側の推移をみて対応する。

◆情報委員会(インターネット:吉良)

1. 会員のメールアドレスについては名簿作成時に新アドレスを登録済みで、その後会員個人の変更等には事務局ですすでに対応している。

2. 本部ホームページの改訂作業について

- ・ページ改訂作業は予算内にて業者に委託(内定)
- ・変更事項(事業報告、決算、事業計画、予算、役員)については事務局よりデータを情報委員会に渡し済み。
- ・JID賞情報、展示会情報は優先項目として掲示。
- ・ページデザインは、操作に伴う視認性(わかりやすさ)、情報検索の軽快性の向上を検討。
- ・タイムリーな改訂を必要とするコンテンツについては、事務局あるいは情報委員会で行えるよう検討する。又会員、賛助会員等のリンクをやすくする。

◆情報委員会(JIDニュース:清家)

1. 関西事業支部情報部会での検討

JIDニュース関西受託に関し、様々な問題を検討の結果、ECHO誌との合体は難しい、関西事業支部事務局での業務限界に無理がある等のことを考慮、関西の新しいグループで行うことに結論した。

2. いくつかの提案があるが、現状では年4回発行で行い、原稿締切の厳守等見直し、発送は本部事務局とする。又個々の改善点はサンプルを元に理事会の意見を考慮し改善する。尚、理事会等の報告はタイムリーに掲載する。

◆選考委員会

(岩倉理事委任出席のため事務局長説明)

16年度第1回及び第2回委員会を開催し次の事項を決定。

1. 副委員長の人選を行い、山本棟子、中川帛子を選定し了承を得る。
2. JID賞の隔年募集/ビエンナーレとし、2005年募集とする。

3. JID賞の授与数の内定を行い、インテリアスペース賞3点、インテリアプロダクト賞3点、インテリア研究・著作・業績賞1点、新人賞5点、佳作10点としたが、尚今後も賞の目的を確認しつつ検討する。

4. 審査対象を2002年7月～2005年3月31日とする。

5. 審査方法は第1次審査と第2次審査とし、外部審査員の人数等今後も検討を継続する。

6. スケジュールは応募受付を2005年5月～6月を予定。贈賞式は2006年1月を予定。

◆事業推進担当(小宮、安藤、丸谷)

7月23日(土)名古屋にて事業推進担当会議を行い、次の5項目を検討。

1. 本部の役割と事業支部の役割を明確化。
2. 賛助会員との協力体制強化。
3. CPD(継続職能研修)制度の導入検討。
4. JIDプロモーション活動の充実と効率化。
5. 国際的役割を果たすための基盤作り。

以上の5項目の方向付けは承認された。次回理事会(平成17年1月)での決定を目標に、スケジュール、具体的活動を盛り込んだ骨子の作成に入る。

◆4事業支部担当(阪井)

1. JID ACT(各支部名) 関東、中部、関西、九州への名称統一を決定。
2. 規約については、それぞれの地域にあったものとする。(資格及び会費等)
3. ロゴの統一に関しては各支部に任せる。
4. 正会員へのルールについては、規約の変更等を考慮今後検討する。

[2] 平成16年度収支状況報告(7月末)

事務局長より7月末収支状況報告について説明。

[3] その他

財務運営資金繰りについて事務局長より説明、現状は順調に推移。

第3回理事会日程及びニューイヤーズパーティの日程について

平成16年度第3回理事会

平成17年1月21日(金) 13:30～17:30

ニューイヤーズパーティ 同上 18:30～20:30

議長は報告事項について了承を求め、理事会はこれを了承した。

Ⅱ 議題

◆第1号議案

事業支部規定他改訂について

事業支部規定の一部改訂(事業支部地域範囲の確認)、及び職員就業規則(職員の範囲を明確化)並びに職員退職手当規定(退職金支給資格を3年

以上在職とした)の一部改訂を提案。

以上につき秋山総務担当理事及び峰尾事務局長が説明。

議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

◆第2号議案

後援・協賛名義及び賞状交付承認の件(6件)

事務局長が下記6件について説明、議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

●「第19回全国高等学校インテリアデザイン展」

社団法人日本インテリアデザイナー協会 理事長賞

平成16年8月23日～10月3日

主催：財団法人大川総合インテリア産業振興センター
賞状交付・継続

●「華胥の夢博2004」

平成16年10月1日(金)～3日(日)

主催：財団法人大川総合インテリア産業振興センター
後援・継続

●「アジアパッケージデザイン会議 東京 2004」

2004年10月7日(木)

主催：社団法人日本パッケージデザイン協会
後援・新

●OZONE10周年記念(WE LOVE CHAIRS)

2004年10月21日(木)～11月23日(火)

主催：株式会社リビング・デザインセンター 後援・新

●てつそん2005

2005年3月12日～16日もしくは3月25日～29日

主催：てつそん実行委員会 後援・継続

●「第10回 木造建築物に関する研究会」

平成16年10月14日(木)

主催：財団法人日本住宅・木材技術センター
後援・継続

◆第3号議案

会員入退会承認の件(8件)

事務局長が下記8件について説明、議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

●正会員 入会(3件)

河西徳浩 (関東) 推薦人：峰尾武、秋山修治

祓川寿美礼 () 推薦人：長岡貞夫、下島資子

高橋絃生 () (再入会) 推薦人：峰尾武

●賛助会員 入会(2件)

株式会社ワークプレイス ソリューションズ

紹介者：井出昭子、安竹麻智

株式会社川島織物 紹介者：道明三千代

●正会員 退会(2件)

1115 大隅照雄(関東) 0728 深谷明恵(関東)

●賛助会員 退会(1件)

3089 株式会社日総建

●報告事項(計報)

小笠原年男(関東正会員)

平成16年7月25日逝去 享年63歳

◆第4号議案

議事録署名人選任の件

議長は清家淳一、丸谷芳正両理事の承認を諮り、異議なく承認された。

社団法人日本インテリアデザイナー協会 平成16年度
第2回理事会に関し、定款第26条に基づき、議事経過及び議決事項を記するため、議長と議事録署名人が記名捺印する。

議長 川上玲子

議事録署名人 清家淳一、丸谷芳正

事業推進計画

平成16～17年度事業推進案について

事業推進担当理事 丸谷 芳正

さる7月23日(土)事業推進担当理事である安藤清氏のコーディネートで名古屋市栄にあるアルフレックスショールームにて、名古屋から安藤清氏、大阪から小宮容一氏、富山から丸谷の3名が集まりJIDの事業推進計画を話し合った。非営業日であるにもかかわらずスペースを提供して頂いたアルフレックスと担当の市橋氏に感謝する次第である。おかげで十分リラクセス出来る空間で有意義な話し合いをすることが出来た。なお名古屋での話し合いの結果をもとに、9月11日の理事会において討議検討され、うまくいけば年内早いうちに事業推進のたたき台ともなる「事業推進案」を会員の皆様に提示出来るものと思います。これから述べますことはあくまでも丸谷がまとめた私案であります。名古屋での事業推進会議の結果や川上理事長の意志も反映させたものです。ここであえて意思表明する理由は、少しでも会員皆様の意見を反映させたいためです。e-mail、FAX等でおおいに議論をいたしましょう。

平成16～17年度事業推進案

まずは、目標を明確にすることからはじめます。なるべく絞り込み、達成可能なものにしたいと思い、5つの目標に絞ってみました。

●基本的活動方針

1. 本部の役割と事業支部の役割を明確化
2. 賛助会員との協力体制強化
3. CPD(継続職能研修)制度導入
4. JIDプロモーション活動の充実と効率化

5. 国際的役割を果たすための基盤作り

● 上記項目に関する具体的活動方針

基本的活動方針を達成するためには、より具体的な内容を描かなければなりません。

1. 本部の役割と事業支部の役割の明確化

平成15年度までの改革で財務面、組織面での合理化が図られた。改革第一段階は一応区切りがついたと言えます。16年度からは改革第二段階に入ります。組織をよりスリム化することはもちろんですが、協会全体のベクトルをはっきりさせるためにも本部と各事業支部との関係を明確にすべき時期にきました。

本部は国内、国外に対してJIDの顔としての役割はこれまでと変わらないが、これからはある意味では裏方、計画立案者と運営の役割がメインになると予測します。それに対して実際に活動を行うのは各事業支部ということになります。これまでは、本部のある関東事業支部は本部事業と支部事業との区別が付けづらく人的資源の活用効率という面でも改善の時期にきたと言えます。過去の分析に関しては其々の立場で異論もあると思いますが、ここで大切にしたいのは未来であります。

本部の役割は、計画立案と運営が基本になりますが「選考」、「総務」、「交流」、「情報」の4部門はこれまで同様其々の立場でJIDの核として動いてもらいます。しかしながらこの4部門も各事業支部との連携があってこそ、よりよい成果が期待できると確信します。また本部が計画立案、事業支部が事業の実施という役割分担と言う意味は本部の手足になれということではありません。本部の役割は基本設計までであり、実施設計は各事業支部で行います。この住み分けにより予算の無駄をなくしかつ各支部の独自性を保ちつつ支部間の交流を促進し、JID全体があるベクトルを示せるよう支部間の調整が重要になるでしょう。本部と事業支部の役割を明確にしたところで各事業支部活動内容に入ります。

2. 賛助会員との協力体制強化

我々インテリアデザイナーを支える賛助会員との共同事業を企画することは当たり前であるし、賛助会員とのパートナーシップを保つためにも、彼らにメリットのある企画を定期的に開くことに異論はないと思います。関西で行われている「新製品説明会」にみられるような企画を定期的に打ち出す必要があり、このことは後で述べる研修制度との関わりも含めて考える必要があります。

3. CPD(継続職能研修)制度導入

各事業支部活動の円滑化、活性化、積極性を生み出すためにCPD(継続職能研修)制度を導入します。CPD制度は本来、職業資格制度と連動して導入されるケースがほとんどですが、JIDではもっとゆるやかに考え、JID会員の職域の広さ(建築、室内、プロダクト、アート)を考慮し、会員のスキルアップや活動の活性化のためのしくみとして導入します。建築家協会のCPD定款には「業務の質的向上と業務環境の変化への対応を支援することにより、会員が建築家としての責務と使命を十全に果たすことを目的とする。」とある。職能団体としてはごく当然のことです。

この制度がなくても目的を果たすことは出来るかもしれない。しかしながら、人間は弱いもので時間とか予算とかの枠があったほうが成果が出せるのではないだろうか。但し、どの程度の縛りを設けるか本末転倒にならぬよう議論が必要でしょう。全く縛りを設けずというのもひとつですが、目標単位を設けて受講した単位数を記録し活動状況を把握するというのもひとつです。具体的には1講座2単位で年間8単位以上を推奨というのが私のイメージです。量より質を目指します。

名称もCPDは堅いので、JIDワークショップとか親しみやすい名前が必要ですね。忙しくてなかなか受講出来ない場合も考慮して他支部の受講も可能にします。出張先で受講なんていうのもよいですね。合同で開催もよいでしょう。総会も発表の場として1講座くらい用意すればもっと人が集まるかもしれません。これからは活動の主体が事業支部に移るのですから、JIDとしてまとめるためにも支部間交流が重要になると思います。

事業補助費と事業収入での収支は重要な課題です。採算の取れる企画が必要です。「デザイン職人四方山話」、「インテリアデザインの現場展」、のような各支部のこれまでの目玉を全国展開するのもひとつです。前述の賛助会員との共同事業もこの枠に入れセミナーを開き集客力にある企画を起こすことです。各研究会の発表の場としても活用したいと思います。

4. JIDプロモーション活動の充実と効率化

国内、国外に向けてJIDを積極的にアピールするための体制を整備します。三つの軸を設けて立て直します。

第一のプロモーションは、「JID賞」を軸とした活動です。今回展開される各事業支部活動と絡めて効率よくプロモーションします。「JID賞」のパネルだけでなく協会のプロモーションパネルをつくり各支部に展開します。第二のプロモーションは印刷物を軸とした活動です。

協会の定期出版物「From JID」、「インテリアデザイナーの仕事」、「会員名簿」を軸としたプロモーション体制の見直しを図ります。「From JID」と「インテリアデザイナーの仕事」は合冊とし平成18年度末出版とします。「From JID」では事業活動の成果を発表しJIDのプロモーションとします。「インテリアデザイナーの仕事」ではカラー印刷とし会員のプロモーション活動を行います。次の発刊は平成18年度末でしょうか。「名簿」は年1回の印刷を目指し情報の更新が行われるようにします。ですから名簿の発刊は平成17年5月となります。

第三のプロモーションはホームページを軸とします。予算も含めて継続性と目的を明確にして国外にもプロモーションできるように計画します。

5. 国際的役割を果たすための基盤作り

関連国際会議等においての活動は日本のインテリアデザインのアイデンティティーを確立する上でも重要です。会員の国際意識を高める上でも日頃の各事業支部活動と関連付けを行う必要があります。このためには国際的な場での成果発表が出来るような内容を用意する必要があります。IFIを例にとると「Green Design」、「Design and Disability」、「Interior Design Education」の3つの流れがあると聞いています。どれもが、JIDとしても積極的に取り組む必要性のある課題でもあります。こういった内容を各事業支部の事業計画に盛り込み何らかの成果を発表していけば、nice to meet youで終わらずに真の意味での交流が促進するのではないかと思います、いかがでしょうか。また、各事業支部、各地域での特殊性は逆に国際的な関心と呼ぶものと確信します。

以上、気軽に書き連ねてみました。卓球の愛チャンではないですが「そんなにきれいごとじゃないよ」と言われそうですが、はじめにイメージありきです。皆様のご意見お待ちしております。

委員会 報告

選考委員会

担当理事：岩倉榮利

委員長：木村戦太郎

副委員長：中川帛子、山本棟子

平成16～17年度の選考委員は次の8名です。
秋山修治、岩倉榮利、木村戦太郎、吉良ヒロノブ
坂本和正、清水忠男、中川帛子、山本棟子

平成16年度 第1回選考委員会

日時：2004年7月15日(木) 18:30～21:00

場所：OZONE 8階 会議室

出席：岩倉榮利、木村戦太郎、秋山修治、吉良ヒロノブ
坂本和正、中川帛子、山本棟子、峰尾武

◆議事

[1] 副委員長の人選

検討により副委員長を2名とし、山本棟子、中川帛子両名が推薦され了承した。これに伴い、委員会の記録は副委員長が交互に行うこととした。

[2] 委員会予算について

1. 前期委員会で決定されたJID賞募集の隔年／ビエンナーレ方式化をうけ、次回の2005年JID賞募集の準備を直ちに開始する。
2. 委員会実行予算は平成16～17年度の、2年分の合計予算をこれに宛て、入念な準備を行う。

[3] 検討事項

まず岩倉理事が資料を使って前委員会の考え方や選考事例に関する説明を行い、続いて今後の取り組み、疑問点、問題点などについて委員全員による意見交換をおこなった。

1. 応募対象作品の時期的確認
2. 賞の名称にJID賞の通算回数を加えてはどうか。
3. 「学生賞」を廃止して「新人賞」とした件について。
・年齢は35歳か？ グループ応募の時はどうか？
4. 賞の内容に関する議論
・各カテゴリー別の賞を一点に絞るか、多くするか？
JID賞の意味、重み、協会のプロモーションか、会員増強の手段か？
JID賞の社会的ステータスの捉え方は？
・インテリアプロダクトはプロトタイプも応募可か？
・研究部門ではプロジェクトでも応募できるか？
・「奨励賞」は必要か？ 「特別賞」「審査委員会賞」の方が、意味が明快ではないか？
・新人賞には学生は応募できるか、できないか？
・新人賞はカテゴリーを問わない方が面白い。
などなど、議論は尽きなかった。

委員の出席率を上げるため、委員会開催日を土曜日の午後とし、きちんと日程調整することとした。

平成16年度 第2回選考委員会

日時：2004年8月21日(土) 13:00～16:30

場所：文化女子大学17階インテリアデザイン研究室

出席：岩倉榮利、木村戦太郎、中川帛子、山本棟子

秋山修治、吉良ヒロノブ、清水忠男、峰尾武

特別参加：川上玲子理事長

◆議事

[1] アジアインテリアデザイン学会作品集へのJID賞作品掲載

昨年度にインテリア学会を通じて要請があり、理事会報告された件の正式依頼が来た。JID賞の広報活動と考えて了承し、2002年度JID賞スペース部門賞作品3点を推薦する。掲載料各150ドルは、選考委員会予算から支出する。

[2] JID賞の目的について

JID賞の社会的位置づけ、ビエンナーレとした意味や意義を明確にすべきだとの意見が多く、今後も議論を続けることとした。

[3] JID賞の授与数の議論

授与数を絞るか、多くするかについては熱い議論が交わされ、大賞／1点、インテリアスペース賞／3点、インテリアプロダクト賞／3点、インテリア研究・著作・業績賞／1点、新人賞／5点、佳作／10点、の案が賛同された。今後も賞の目的を確認しつつ再検討する。

[4] 審査対象

2002: JID賞以降の作品として、2002.07.01～2005.03.31に日本で実施完成した空間デザイン・製品デザイン、日本国内で発表された試作・研究・著作・業績。

[5] 審査方法

第一次・第二次審査の方法と、外部審査員の人数及び参加の時期などを検討し、今後も議論を継続する。審査委員長には理事長があたる方向で検討する。

[6] ラフ・スケジュール

2004.11 企画決定 2004.12 印刷原稿完成

2005.01 応募要項発送 2005.05～06 応募受付

2005.07～10 審査 2006.01 贈賞式・パーティー

[7] その他、今後の検討課題

応募要項のデザイン・制作

審査結果の発表、贈賞式、展示方法、広報活動など

※第3回・選考委員会は2004年10月2日、開催予定。

委員会 報告

交流委員会

担当理事：坂本和正

委員長：小野由記子

IPEC21 2004 開催のお知らせ

「IPEC21 4th INTERIOR PRO EX CO」が10月13日(水)～15日(金)東京ビッグサイト西ホールで開催されます。JIDでは DESIGNERS SHOWCASEの「JIDギャラリー」にて、最新の会員ワーク集資料映像をユニークなバルーン型ブースに投射して紹介する展示を行います。

また、会期中に開かれるセミナープログラムをひとコマ企画協賛しております。

「日本の空間の特質について」—自作を通して—

講師：内田繁氏

空間は精神とかかわると考えたのは、侘茶の空間、茶室でした。以来、日本のデザイナーはどのような対象の空間にあっても、人の心と関わりあってきたのです。

この事が他の国のデザインとの違いをつくってきました…。

10月13日(水) 13:00～14:00 場所：会議棟6F

聴講料：事前申込¥2,500 当日¥3,000

同じく14日(木) 16:00～17:30

「これからどうするインテリアのプロ」は、インテリア4団体の各会長、理事長によるシンポジウムです。

JIDは川上玲子理事長が参加いたします。

尚、ご参加は、IPEC運営事務局からJID会員に送付されましたパンフレットのデザインセミナー申し込み用紙にてFAXでお申し込みください。

委員会 報告

情報委員会

担当理事：清家淳一

委員長：八十常充

JID Newsを会員相互のコミュニケーションツールと位置づけ、活動活性化の役割を担いたいと考えています。

新生JIDニュースにする為に見直しを検討します。

具体的には、会員一人一人のしている事、したい事、しなければならない事や今後の方向をいち早く正確に本会報を通じて行い、JID活動の盛り上がりを図りたい。

今回より、編集メンバーは担当理事 清家、山崎、八十の3名の主担当と各事業支部から(関東)佐藤、(中部)出水、(関西)塚口、(九州)下田が担当いたします。

尚、JID Newsを更に親しみやすいものにするため、編集メンバーを募集いたします。興味のある方は八十迄。

(連絡先は会員名簿をご覧ください。)

支部活動に向けて

関東事業支部 支部長 佐藤 健一



関東事業支部では6月にNEXT JIDと題して関東事業支部全体会議を2度開催いたしました。当初予想よりも多い、30名近くの支部会員が出席され、前向きで活発な意見や要望がたくさん出されました。わたしも支部長として2期目に入り、関東事業支部の更なる事業の拡大と発展的な委員会活動につながるものとして、大いに参考にしなければならない事と受け止めました。

関東事業支部全体会議における様々な意見をチャートにして分析した結果、新しい組織の枠組みと気楽に活動に参加できる制度を導入することが目的として見えてきました。

具体的には総務・組織委員会、事業委員会、交流委員会、情報委員会、研究委員会の五つの委員会を柱とし、それらに関東ユースやパートナーズ関東、大きな展覧会や展示会、施設見学や各種セミナー、ホームページの再構築などを、どこにどう組み込むか議論を進めました。これら委員会の枠組みに肝心の活動メンバーがそろわなければ始まりません。

関東事業支部全体会議では委員会活動が分かりにくいとか入りにくい、あるいは年間を通して活動できないという意見も多く、解決策としてプロジェクトメンバー制度を構築することにしました。

本来、委員は2年間の活動ですがプロジェクトメンバーは短期的なプロジェクト毎の参加が可能とし、複数の委員会のプロジェクトにも加わることができることになるわけです。

関東事業支部では上記の新組織構成とプロジェクトメンバー制度を導入し16、17年度の支部活動をより活発に推進していきたいと考えております。



中部事業支部ユニーク総会

中部事業支部 出水 裕子



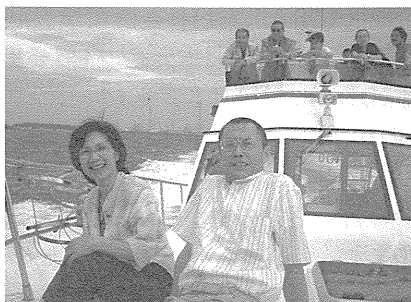
6月19日(土)20日(日)、梅雨の真っ只中。しかも今年は、例年になく、うだる様な暑さの中で中部事業支部総会が福井県三国町で開かれました。三国町は、冬の越前がにで有名ですが、歴史的にも北前船の商業都市として興味深いものがあります。

19日PM1:00 福井県武生市で集合し、越前打刃物のナイフビレッジで各々オリジナルペーパーナイフを製作。その後、越前海岸をドライブしながら三国港へ。そこでサンセットクルージング。潮風が涼しく、ちょっと豪華な雰囲気を感じて15年度の総会は、ある企業の保養施設を借りて開かれました。

16年度も中部事業部では、ユニークな事業が計画されます。みなさんお楽しみに!!

翌日は、三国港の古い町並みを探索。三国港は明治に入ってからオランダ人技師による新しい突堤が造られ、洋式建築の小学校などモダンな街づくりがされていたことに改めて驚きました。

全員日本海の美味しいものをいただき、楽しい総会だった事を報告いたします。



JIDNEWSKANSAI



第3回「企業による重点商品及び新製品説明会」開催のご案内

関西事業支部 組織部会長 高瀬 守博

さて、インテリアに係わる新素材や新製品の情報を、逸早く会員の皆様に告知して頂く場として、標題の企画をとり行っておりますが、今回はより目的的に、今年3月に新設されましたアイカ工業様の1F・セミナールームとショールームをご好意によりご提供頂きまして、下記のとおり開催致します。

- 日時 2004年10月2日(土)
- 会場 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-13-27
アイカビル・1F セミナールーム
- プログラム 午後1時～2時 ショールーム案内
午後2時～5時 各企業説明会
午後5時～7時 懇親会
- 参加費 会員：1,000円 ACT関西会員：300円
一般：1,300円
- 参加企業 有限会社アド・ハウス
大光電機株式会社
株式会社サンゲツ・大阪店
マックスレイ株式会社
アイカ工業株式会社

中国(広州、東莞、桂林)の旅

平成16年8月18日～23日

関西事業支部 支部長 清家 淳一

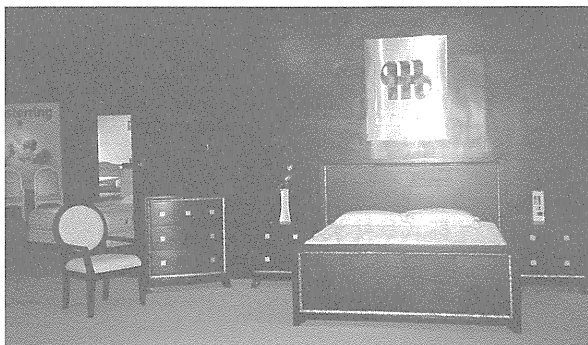
日本貿易振興機構(ジェトロ)がまとめた「2004年版ジェトロ貿易投資白書」によると2003年の日本の輸出額は13%伸びた、中国向けが43.5%増の572億ドルで自動車と一般機械が伸びて、中国からの輸入は21.8%増の752億ドルで輸出国日本なのにー180億ドルにもなる。輸出の中に家具の分野は非常に少なく輸入の方が俄然多いと思われる、中国の家具メーカーは世界の顧客ニーズにこたえるべく商品ターゲットを絞り各メーカーが競争している。技術、品質、仕上、デザインが日本とはまだまだ格差があると思いきみがちだが一瞬のうちに追い越される事になるであろう。家具業界の意気込みと目標があまりにも違いすぎる。

堅い話はこのくらいにして国、人柄の特徴を示すジョークがある。97年「タイタニック」をネタに作られた、沈没

する客船の船長が女性と子供を優先的に救命ボートに乗せる為に男性に海に飛び込むように説得させる文句！
イギリス人「ジェントルマンになってください」
アメリカ人「今こそ英雄になるチャンスです」
ドイツ人「規則ですから」
イタリア人「若い女性が大勢飛び込んでいます」
日本人「皆さんそのようにされています」
ここまでしか載っていなかったが私が中国人を飛び込ませるとしたら——
中国人「新しい仕事と残業が好きなら出来る仕事場が下にあります」



東莞市の家具見本市会場（広い会場に世界を対象にした家具）



新しいビジネスを食欲に探し、働き、多くの賃金を得ることに食欲である、家庭に1台のダイヤル、プッシュホン電話を飛ばし一足とびに携帯電話に入っていく恐ろしい程のスピードである。

我々日本の家具業界、デザイン業界も世界に目を向け海外の家具を輸入するばかりではなく日本の家具を海外に輸出すべく努力すべきである。それには新しいコンセプトとデザインと製作技術で立ち向かうべきである。

もし方法が分からなければご相談ください。JID関西事業支部で対応いたします。（多少のフィーを頂きます。）新しい中国家具業界に驚き、又桂林の舟下りで大陸の雄大さに浸り、足マッサージで心も体も癒され同行の旅人（小宮氏、高瀬氏、応地氏）との語らいも楽しい旅であった。

（市場調査報告は改めて小宮氏を中心に報告会を開催する予定です。）

メールマガジン「関西通信」

関西事業支部 副支部長（情報部会担当） 安藤 真吾

関西事業支部では支部会員への迅速な支部活動の情報提供を目指して、メールマガジン「関西通信」を配信してきました。2001年の2月から配信していますから、すでに3年6ヶ月にわたって配信してきたことになります。現在、関西事業支部68名の会員に対して63名（メールアドレス登録者）に配信しており網羅率は93%です。配信当初は、「イベントや委員会のスケジュールがわかって便利だ。」との反響もありましたが、最近は関西事業支部ホームページを所望される声もちらほら聞こえてきます。しかし、「関西通信」は情報の迅速性が利点と考え、その面に特化した「関西通信・号外」を不定期に配信しております。この号外は会員からの依頼によって配信されますので、みなさまの有益な情報の配信依頼をお待ちしております。

今後は双方向の情報交換が図れる手法を模索していきたいと考えておりますので、さらなるご協力をお願いいたします。

USD-Oホームページ開設

関西事業支部 山崎 晶

USD-O大阪デザイン連合機構では平成15年度事業としてホームページの開設（担当：山崎）を進めてまいりましたが、その準備が整い公開する運びとなりました。

西尾会長のメッセージ、USD-Oのあゆみ、活動の状況、会員（加盟デザイン団体）の紹介などを掲載して“USD-Oって何だ”という各界の?にお答えしております。

USD-Oは、分立していたデザイン団体が共通する問題解決を目指して、1981年発足した連合組織です。自主的な活動を通じて地域社会の多くの人々にデザインへの理解を深めてまいりました。

現在、JID（関西事業支部）をはじめ現在、大阪インテリア設計士協会（OIS）、スタジオフォトグラファーズ関西（SPK）、（社）総合デザイナー協会（DAS）、（社）日本インダストリアルデザイナー協会関西ブロック（JIDA）、（社）日本広告制作協会関西支部（OAC）、（社）日本サインデザイン協会関西地区（SDA）、（社）日本商環境設計家協会関西ブロック（JCD）、（社）日本ディスプレイデザイン協会関西支部（DDA）、（社）日本デザイナークラブ関西支部（NDC）の10団体で組織、運営されています。ホームページの開設を期に、ますます地域社会への理解を深め、デザインの啓蒙活動の中から大阪の活性化に力を尽くして参ります。

九州

KANSAI

CHUBU

KANTO

JIDNEWSKYUSHU

九州事業支部例会

熊本と日田で開催した例会のご報告をいたします。

●撮影：山永耕平、前崎弥生 取材文：前崎弥生



GYAN前（ギャンは熊本弁）

●古民家再生の旗手、作品行脚！

開催日程：平成16年3月21日（土）午後2時～5時

地元で活躍中の空間プロデューサー山野潤一さん（中でも古民家再生を中心に）の作品を視察するコースをつくりました。山野さんの作品紹介をご本人から聞けるとあってインテリアコーディネーターやフードコーディネーターも参加してくれた例会でした。

山野さんは古民家や蔵を改造して独特の店づくりやインテリアでお客さんを魅了し、人気繁盛店舗仕掛け人として、熊本では有名人。熊本の商店街にある上通りの裏手界隈では（ビアホール壺の倉庫）からはじまり今では狭いエリアに山野さんの作品は70店舗近くもあります。この現象は各九州のテレビ局や雑誌に多く取り上げられています。上之裏通と銘打った街づくりの旗手であります。



渡辺さんは天然素材をアトする



薫長酒蔵資料館にて

勇壮な宵山鉦

●日田の祇園祭りとアーティストめぐり

開催日程：平成16年7月24日（土）25日（日）

日田で開催された、夏の例会は、丁度お祭りの時期に一泊で企画しました。担当は大分の、中川監事と江島国際交流委員長。サッポロビール新九州工場視察や、木や鉄を使った造形作家渡辺氏のアトリエ訪問、夜は、むらくもの松で有名な隈の祇園様を拝見！勇壮な宵山鉦に出会い、例会のそぞろ歩きも盛り上がりました。

翌日は、よいお天気で、薫長酒蔵資料館、ホテル風早、宇治山哲平美術館訪問など癒しの日田例会でした。

次は、鹿児島新幹線に乗って、隼人に出かける企画を立てています。皆さん是非ご参加下さい。

事務局からの お知らせ

本部事務局職員の異動について

平成15年3月より事務局職員として勤務いたしておりました、梶田幸さんがご本人のご都合で計画があり、残念ながら平成16年8月27日をもちまして退職いたしました。梶田さんは、今まで協会事務局の大きな力となっていました。会員の皆様にはご指導ご支援をいただき感謝いたします。

後任には、田中絵美さんが9月1日より勤務いたしておりますので、前任者同様ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。尚、前任者と後任者の細かい引継ぎは、前任者の予定があり10月に行います。

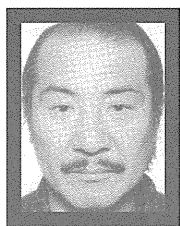
又、当事務局にはもう1名田中道子さん(火・金曜勤務)がおり田中姓が2名となりますので、よろしく願いいたします。

事務局長 峰尾 武

短い間でしたが、いろいろな機会を与えていただき大変勉強になりました。会員の皆様のご指導ご親切に心より感謝申し上げます。

梶田 幸

訃報



小笠原 年男

(関東事業支部・正会員)

平成16年7月25日逝去 享年63歳

小笠原年男さんの死を悼む

長堀 映司(正会員)

小笠原年男さんは3年前から那須に移り住み、持ち前のパワフルな行動力で、「芸術倉庫」という画廊をご自分で立ち上げ、作家活動をしている芸術家達を応援しながら自適な生活を送っていましたが、平成16年3月25日に脾臓ガンとわかり「抗ガン剤で延命しても6ヶ月の命です。肺と肝臓にも転位しているため、手術はできません」と医師からの告知を受け、これから自分は「ガンとどう向き合いどう治療していくか」という問題に、彼は抗ガン剤など薬物に頼らず玄米や野菜を食べ、お風呂やお灸で身体を温める。入院はせず、自分の好きなことをのんびりとやりながら自宅で療養する方法を選択。

あと半年と医師に言われたので、告知から半年後の9月25日の一つの区切りとし、この治療方法でそれまで生きられるかどうか、自分で自分に勝負を仕掛けた生活をされていましたが、その決意むなしく7月25日に逝去されました。享年63歳でした。ご冥福をお祈りいたします。

会員異動のお知らせ(正会員)

※「会員名簿」該当ページをご訂正ください

会員番号0265 池田 松三 会員名簿・関東p.02
・事務所移転 アイエスデザイン研究所
〒191-0001 東京都日野市栄町4-17-36
Tel/Fax:042-586-3616

会員番号1193 橋爪 浩昭 会員名簿・関東p.11
・事務所名変更 キアロ デザイン
・電話番号 〃 Tel:03-3268-6918/Fax:03-3268-6958
・Eメール 〃 hiro@chiaroart.jp

会員番号0805 福沢 雄二 会員名簿・関東p.12
・事務所移転 福沢デザインオフィス
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-14
B101 Tel/Fax:03-3479-3095

会員番号0666 保科 和夫 会員名簿・関東p.12
・自宅移転 〒145-0061 東京都大田区石川町2-31-2
Tel:03-3727-9182

会員番号1242 佐倉 康之 会員名簿・関東p.07
・Eメール訂正 (正)y-sakura@kb4.so-net.ne.jp
(誤)y_sakura@kb4.so-net.ne.jp

会員番号1087 土橋 隆子 会員名簿・関東p.09
・Eメール開設 space-index@tbj.t-com.ne.jp

会員番号0481 海老沢 宏 会員名簿・関東p.04
・Eメール変更 e-ygo-ek@cx.catv.ne.jp

会員番号0322 小寺 恵二郎 会員名簿・関東p.05
・Eメール変更 zenjirow@mx1.slpha-web.ne.jp

会員番号0839 金杉 哲男 会員名簿・関東p.05
・Eメール変更 mono.2001@gol.com

会員番号0945 小池 豊治 会員名簿・関東p.06
・Eメール変更 zj9t-kik@asahi-net.or.jp

会員番号1201 福田 秀明 会員名簿・関東p.12
・Eメール変更 fukuda@stylex-design.com

会員番号1237 大瀧 隆 会員名簿・中部p.16
・Eメール変更 kayaba@m2.gctv.ne.jp

会員番号1093 金田 美世 会員名簿・中部p.16
・Eメール変更 garamiyogara107@ybb.ne.jp

会員番号1093 小林 修 会員名簿・中部p.16
・Eメール変更 ziz@md.ccnw.ne.jp

新会員 紹介 正会員

①会員名 ②会員番号(支部) ③推薦者
④勤務先・事務所⑤自宅



①辻野 由美
つじの ゆみ

②1249 (中部事業支部)
③出水裕子・安藤清

④Studio+Crea (ストゥディオ ピュ クレア)
〒918-8104 福井県福井市板垣3-1333 第2Mビル3F
Tel:0776-34-3988/Fax:0776-34-3989
Email:piucree@fki.fitweb.or.jp
⑤〒918-8014 福井県福井市花堂中1-9-3
Tel/Fax:0776-35-8668



①河西 徳浩
かさい のりひろ

②1250 (関東事業支部)
③峰尾武・秋山修治

④ケイウンドーデザイン
〒390-0851 長野県松本市島内3567 グランヴィ101
Tel/Fax:0263-47-5908
Email:keiundo_d@yahoo.co.jp
⑤〒390-0851 長野県松本市島内3567 グランヴィ101
Tel/Fax:0263-47-5908

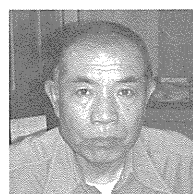
今後のご発展とJID活動でのご活躍を期待しています。



①祓川 寿美礼
はらいかわ すみれ

②1251 (関東事業支部)
③長岡貞夫・下島資子

④(有)エル・エル・プランニング
〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町1
シルクセンタービル811
Tel:045-681-1686/Fax:045-681-1687
Email:sumire_hraikawa@llplanning.co.jp
⑤〒229-1122 神奈川県相模原市横山3-14-3
Tel/Fax:042-755-1805



①高橋 紘生
たかはし ひろお

②1252 (関東事業支部)
③峰尾武 (再入会)

④(有)木工房シン
〒342-0053 埼玉県吉川市関186
Tel:048-981-0167/Fax:048-981-6678
Email:shin8@saitama-j.or.jp.
⑤〒344-0004 埼玉県春日部市牛島9-2
Tel/Fax:048-738-1443

新会員 紹介 賛助会員

株式会社 ワークプレイス ソリューションズ

会員番号3181
〒104-0061 東京都中央区銀座3-15-10
菱進銀座イーストミラービル
Tel:03-3545-7626(直)/Fax:03-3545-7380
Tel:03-3545-7377(代)
代表取締役 服部義弘
担当者:企画設計課 金井真佐枝
Email:kanai_masae@wsi.jp <http://www.wsi.jp>

株式会社 川島織物

会員番号3182
〒160-0004 東京都新宿区四ツ谷4-16-3
日本生命新宿御苑前ビル
Tel :03-5362-2822 (内線401)
Fax:03-5362-7405
インテリア事業部 企画部 部長 田邊純夫
担当者:インテリア事業部 企画部事業企画T 主幹 喜多宏文
Email:hkita@kawashima.co.jp

※賛助会員数60社(平成16年9月現在)

JID news

企画・編集：本部情報委員会

JID News 担当理事：清家淳一

JID News 委員長：八十常充

// 委員：山崎晶

// 関東事業支部：佐藤健一

// 中部事業支部：出水裕子

// 関西事業支部：塚口眞佐子

// 九州事業支部：下田隆

—— あとがき ——

本年度より本部機能をスモール化し、支部機能を活性化させる方針の一つとして、JID News の編集を関西事業支部で引き受ける事になりました。

JID News は会報として、JIDの目指すべき方向や本部委員会及び各事業支部に於ける活動を会員の皆様にタイムリーにお伝えする情報誌として位置づけています。

そのためには、会員皆様の日常のご活動や地域の話題、各種イベント情報などを盛り込んで、木目細かい情報集めを行う必要があり、各事業支部ご担当の皆様には、より一層アンテナの感度を高めて頂きインテリアに関する情報を満載した JID News にしたいと思っています。

今後の JID News は 226 号を 12 月末、227 号を 3 月末に発行を予定しています。

発行予定日の約 1 ヶ月前を原稿締切りとしたスケジュールで推進致しますので、各ご担当の活動や情報のご提供はその期日に提出いただける様ご協力宜しくお願い致します。

八十常充

No.225

発行日：平成16年9月30日

編集デザイン：西尾直事務所
印刷：株式会社岡本印刷所